

窯業系サイディングに代わる、ひび割れない、腐らない外壁材

30年以上、塗替え不要！の新しい外壁



通気断熱大壁工法

特許出願中

「材工販売」 「責任施工」

J P - W A L L

J P ウォール

J P ウォールはE P S断熱ボードを基板とした、通気大壁断熱工法です。

- ・条件を整えば30年塗替え不要の工法です。
- ・目地の無い美しい仕上がりになります。
- ・経年変化や凍害による傷みや腐りがありません。
- ・ボードは端材や改修時すべてリサイクルできます。
- ・窯業系標準サイディングと同等の価格で施工できます。
- ・仕上げ塗料をドイツ製にすれば50年持ちます。



ご予約いただければ実際に施工した現場をご覧頂けます。



— 資材高騰の時代だから注目されるメンテナンスフリー外壁 —

新築住宅の塗り替えサイクル「50年比較」

お客様：30歳で新築	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳	→次の世代へ	
新築	→築10年	→築20年	→築30年	→築40年	→築50年		
窯業系サイディングの場合							
	標準ボード	塗替150万円	塗替150万円	張替300万円	塗替150万円	塗替150万円	計900万円
	高級ボード	塗替150万円		塗替150万円		張替300万円	計600万円
J P ウォールの場合							
	標準塗料		塗替150万円				計150万円
	ドイツ塗料				塗替150万円		計150万円

最大で750万円の差！

「JPウォール」はこんな方におすすめ！

- ・窯業系サイディングの経年劣化（凍害）に悩まされている。
- ・目地の無い美しいデザイン住宅にしたい。
- ・高価格帯住宅を販売したい。
- ・ローメンテナンスコストで他社との差別化を図りたい。
- ・低価格で付加断熱をしたい。



窯業系サイディング15年ほどの家

結露による凍害がみられ、塗替え不能。
張替えには300万ほどかかる。



JPウォール16年目の住宅。汚れは多少あるが、ボードの劣化は見られず。

リフォームにもご使用いただけます→

JPウォールは、

- ・イニシャルコストは窯業系標準カラーサイディングと同等
- ・将来の塗り替えコストは窯業系サイディングの1/3～1/2程度
- ・将来の塗り替えサイクルは窯業系サイディングの1.3倍～1.5倍
- ・凍害、目地割れ、ひび割れがない。結露による塗膜剥離がない。将来窓の交換が楽な工法です。



ボード施工前



ボード施工後



ベース施工後



完成



<JP-ベースZの性能>上の写真：ベースコートの接着力を示す事例です。タテ1m幅1mもある巨大なモルディングをベースコートの接着力のみに固定しています。JP-ベースZは、例えば基礎巾木など、あらゆる箇所に使用できます。[横浜ビックオレンジ 施工：長谷工コーポレーション]



<JP-ベースZの性能>

右の写真：通常EPSボードを曲げると割れてしまいますが、ベースコートとメッシュを塗り込む事でボードが割れなくなります。ひび割れへの追従性があります。

JPウォールの原型は、「EIFS」工法。

<EIFSとは>

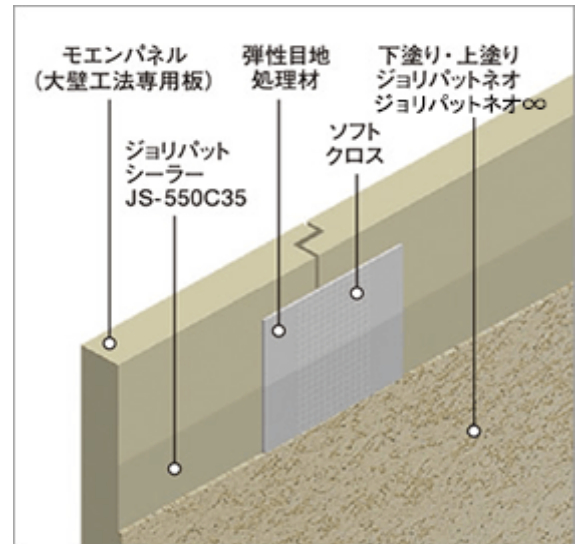
Exterior Insulation and Finish Systemの頭文字の略で、日本語に訳すと、外断熱外壁仕上げ方式、または外断熱塗壁方式と言われています。近年では「湿式外断熱工法」とも呼ばれています。EIFSは、商業施設を中心に、アメリカ合衆国で広がりを見せ、1980年代から個人住宅にも多く使用されるようになりました。90年代に入ると、アメリカの環境政策の中で大いに注目され、現在では、全米のあらゆる場所で使用されています。日本では、1999年頃から日本全国に普及し始め、木造住宅、マンションに多く使用されるようになりました。アメリカ版「**大壁工法**」です。



<大壁工法>

日本の大壁工法で代表的なのが、ニチハ モエン大壁工法。専用窯業系サイディングを張り、そのジョイントをエポキシパテとメッシュで目地埋め。その後ジョリパットなどの厚塗り（コテ塗り等）塗料で仕上げる目地の無い工法です。

大壁工法のデメリット①「パテ跡が出る」。目地部分のみパテ埋めしますので、特にパテの固い冬場は目地跡が出る場合が多くあります。②厚塗り（コテ塗り）等の仕上げによる凹凸に汚れがたまりやすい。③「パテの経年劣化によるひび割れ」。エポキシパテの油分が抜けた時、弾性を失い、目地割れを起こすリスクがあります。④「目地割れ時の塗り替えコスト」。目地が割れると厚塗り塗料で凹凸が多いので、塗り替えにコストがかかります。



<JPウォールの特徴とメリット>

①窯業系標準カラーサイディング同等価格で施工できます。

EIFSの約1/2の価格、窯業系カラーサイディング同等価格です。

②目地全体を樹脂モルタル+専用メッシュで塗り込みますので、目地跡が目立ちにくい工法です。

③仕上げに厚塗り塗料を使わず薄塗塗料で仕上げますから、汚れが付着しにくく、塗り替えが容易です。また、薄塗塗料で仕上げると塗り替えサイクルが30年、オプションのドイツカイク社 ロイヤランで仕上げると、塗り替えサイクルは50年となります。（オプション塗料＝約30万円～50万円程/棟アップ）

④張り方は、構造材+面材の直に張る方法（付加断熱）と、通気胴縁を用いて張る（ボードとして使用）方法のどちらでも選べます。付加断熱として使用すれば当然Ua値は上がりますし、ボードとして利用しても夏場の断熱には有効な工法となります。

⑤将来の窓交換が容易にできます。



仕上パターン例

JPウォールは、高湿度富山で16年の歴史があります

<JPウォール開発者：永森 裕章の経歴>（一級塗装技能士、二級建築士、他）

○1996年塗装業として創業。

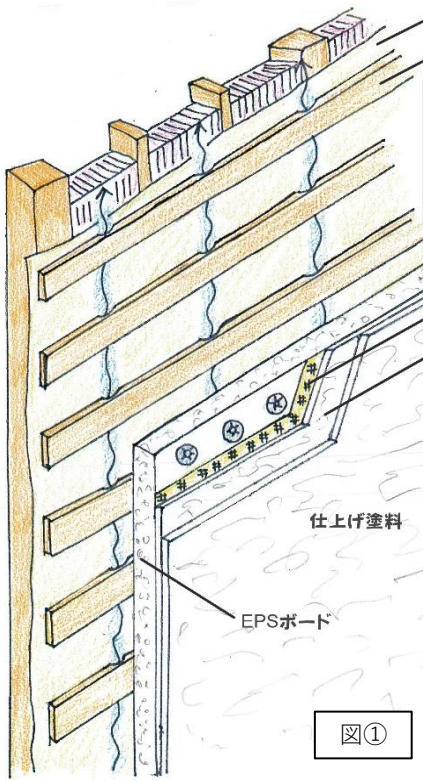
エスケー化研・アイカ工業登録施工店の登録施工店 富山県第1号として窯業系サイディングの大壁工法を多数施工。

その後、キクスイ科学工業の施工店にも認定され、エスケー化研のメーカー塗替え工事を多数施工。

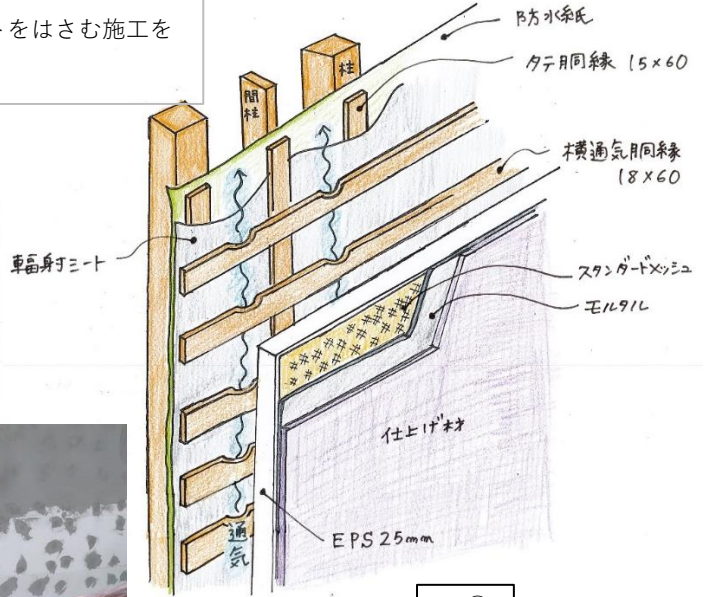
今までに塗料メーカー工事として手がけた大手ハウスメーカーは、住友林業、日本ホールディングス（当時は東日本ハウス）、ダイワハウス、積水ハウス、三井ホーム、地場工務店など多数。当時は住宅塗装の第一人者として認められていました。

通湿防水シート
通気胴縁

図①のような横胴縁で張る方法と、
図②のような輻射シートをはさむ施工を
選択できます。



図①



図②



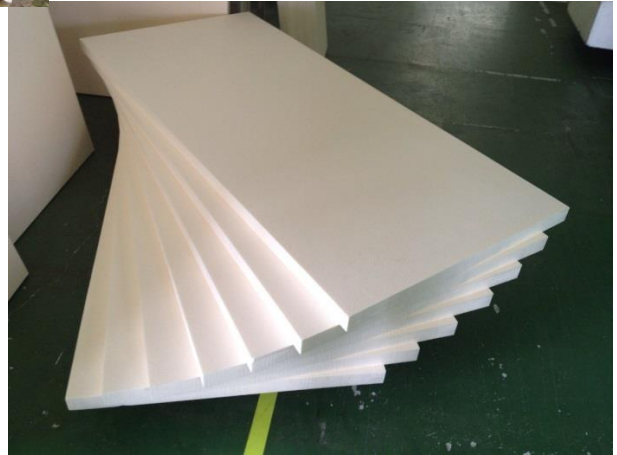
JPベースZ



ワッシャー



メッシュ



JPボード

JPウォール施工要領書

JPウォールの施工

ボード張り	JPボードを専用のワッシャーとステンレスビスにて張ります。
パテ拾い	JPベースZにてワッシャービスで引っ込んだ部分をパテのように不陸調整します。
ベース塗り & スタンダードメッシュ	JPベースZとモルタルを1:1と清水を適量加え攪拌し、ボードに塗り込みます。2kg/m ² 塗り込んだらすぐにメッシュを貼り込みます。そのままコテで押し込むようにしながら模様をつけます。
乾燥	12時間~36時間ほどインターバルを取ります。
コーキング	窓周りなど必要箇所をコーキングします。
養生	窓周りなど必要箇所を養生します。
下塗り	専用プライマーを刷毛又はローラーにて塗布します。(0.15~0.2kg/m ²)
仕上げ塗り1~2回	専用仕上げ材を刷毛又はローラーにて塗布します。(0.2~0.37kg/m ²)

*標準仕上げ塗料は、キクスイ科学 ビュークリーンDXつや消し。超長期対応には、カイク社 ロイヤランをお勧めします。

*防火地域、準防火地域での使用はご相談ください。

お問合せ イクソール工房 株式会社ジュープラス内
〒939-8055 富山市下堀7番地
TEL 076-492-7033 FAX 076-492-7063

e-mail: info@ju-plus.co.jp

